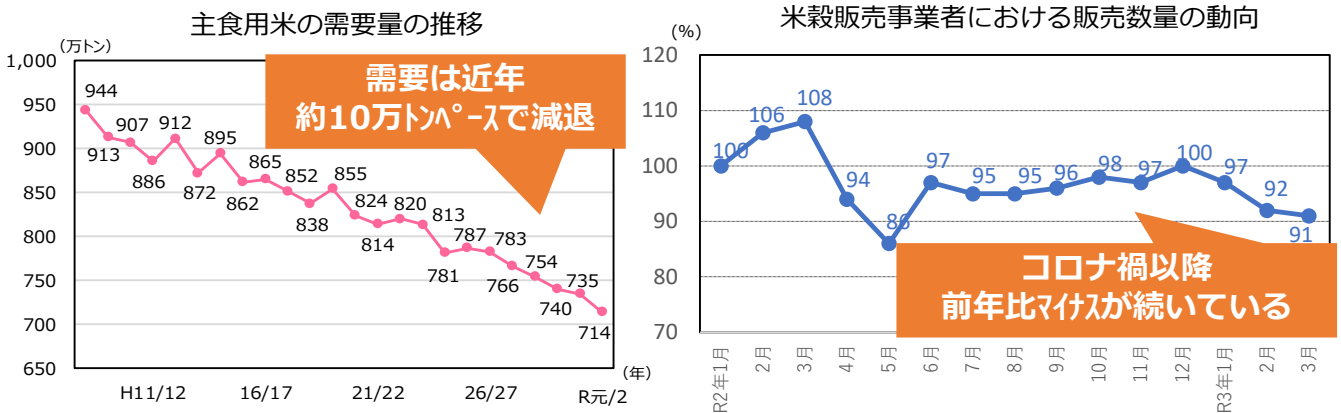


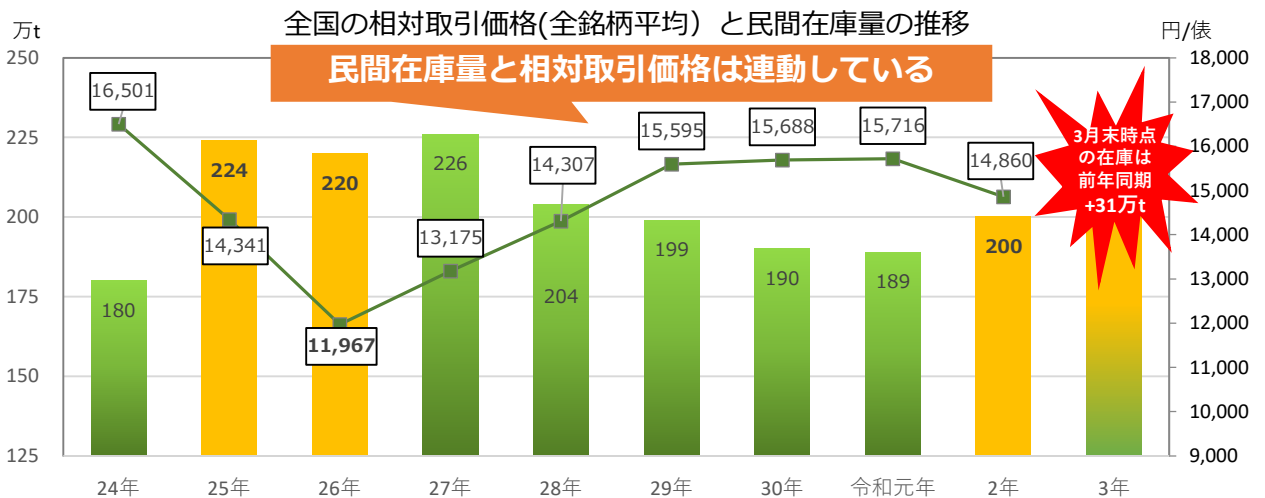
令和3年産では全国的に 主食用米の大幅な需給緩和が 予想されています！

1. 全国的な需要量の減少



米の需要量は、1人当たりの消費量や人口減少等の影響により毎年約10万トンの減少が見込まれる中、昨年度から新型コロナウイルス感染症の影響等により、販売量の減少が顕著となっています。今後もコロナ禍が続くことから、厳しい販売状況が続くと予想されます。

2. 過去の在庫水準と米価の関係性



過去に在庫量が大きく過剰となった平成25年、26年産では、60kgあたりの価格が前年から**2,000円以上下落**しました。さらにこのコロナ禍以降は、在庫が過去最大規模で推移しているとともに、令和3年4月末時点の作付意向とりまとめでは全国の作付転換が需給均衡に必要な水準に大きく届いていないことから、各産地は国の支援等も活用し、さらなる作付転換に向けた取組を進めているところです。

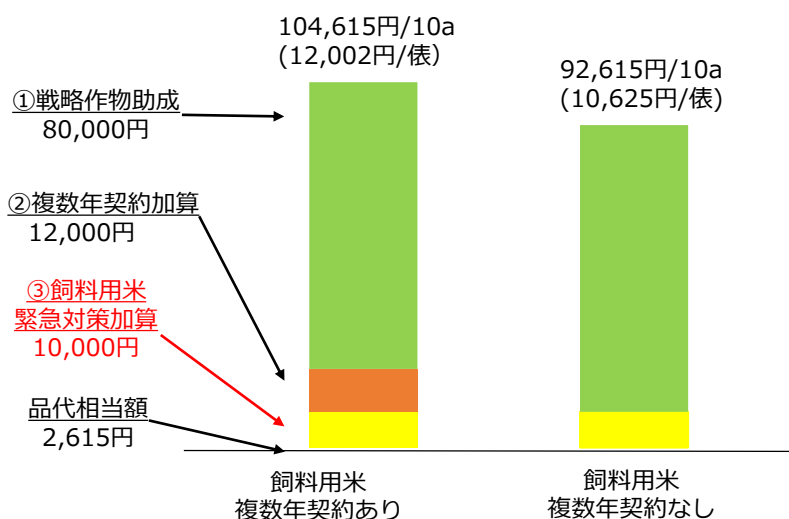
※図表等内容は農水省資料等を基に作成

水稻農家の所得確保を支援するため 「飼料用米緊急転換加算」 を新規設定しました

■ 県農業活性化協議会では、緊急的な対応として、国の助成制度を活用した新たな支援メニューを設けました。

■ コロナ禍であっても需要の大きい飼料用米を対象に、主食用米から転換する取組に助成します。

本メニューを活用した飼料用米作付による収入イメージ



注) 令和2年産県下平均単収523kg/10aを用いて試算しています。
上記のほか、地域活性化協議会が飼料用米助成を設定している場合、上記金額に上乗せされます。

飼料用米に取り組むことで受けられる助成内容

- ① 戦略作物助成・・・80,000円/10a
- ② 複数年契約加算・・・12,000円/10a
(要件) 複数年(3年以上)の契約を締結し、コスト低減や作業の効率化に取り組む必要があります。
- ③ **飼料用米緊急対策加算【今回設定】・・・10,000円～最大15,000円/10a**
※飼料用米の前年からの拡大面積に対する助成
※コスト低減や作業の効率化に取り組む必要があります
※R4年産以降の助成内容は未定

助成を受けるためには、**6月中に国に取組の申込みを行う必要があります。**
(詳しい内容に関するお問合せは各地域農業活性化協議会まで)